

サンプルNo.	月 日 () :	調査員氏名 :	調査場所 : 長・北・八・鎌
---------	-----------	---------	----------------

観光アンケートにご協力ください

調査結果は、鎌倉市の観光行政資料として使用し、この目的以外に公表されることはありません。

性別	男 ・ 女
年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上
居住地 どちらから	1. 鎌倉市内 2. 横浜・川崎 3. 県内(横浜・川崎除く) 4. 東京都 5. 埼玉県 6. 千葉県 7. その他県外 (県・道・府)
同行人数	1. ひとり 2. 2人 3. 3～6人 4. 7人以上
同行者種別	1. 家族・親類 2. 友人・知人 3. 同僚など 4. 団体ツアー 5. 学校行事

Q1. 鎌倉に観光で来たのは今回で何回目ですか？

1. 今回初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4-5回目 5. 6-10回目 6. 11回以上
--

Q2. 今回、鎌倉に来た主な目的をお答え下さい。(複数回答可)

1. 史跡(寺社仏閣など) 2. 自然(ハイキング, 花鑑賞など) 3. 買い物・食事 4. 文化施設(美術館, 博物館など) 5. 海水浴・マリンスポーツ 6. お祭り、年中行事 7. その他 ()

Q3. 今回の鎌倉観光の予定をお聞かせください。

①鎌倉には何時ごろいらっしゃいましたか
1. 10時前 2. 10時～ 3. 11時～ 4. 12時～ 5. 13時～ 6. 14時～ 7. 15時～ 8. 前日

②鎌倉への来訪手段及び市内の交通手段をお聞かせください(予定も含め、すべてお答えください)。

交通手段 コード	記入例 1	鎌倉来訪の 交通手段	⇒	市内移動のための交通手段(徒歩以外)	⇒	⇒	⇒	⇒	帰りの 交通手段
乗車駅 降車駅	北鎌倉駅 鎌倉駅	—	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒	—

交通手段コード 1. JR 2. 江ノ電 3. モノレール 4. 路線バス 5. 自家用車 6. レンカー
7. タクシー 8. 自転車 9. ホトバイ 10. 観光(団体)バス 12. 徒歩

③何時ごろ鎌倉を出る予定ですか
1. 13時前 2. ～14時 3. ～15時 4. ～16時 5. ～17時 6. ～18時 7. 18時～

Q4. 今回の旅行は、ご自宅からの日帰りですか。宿泊ですか？

1. 日帰り 2. 鎌倉市内に宿泊 3. 横浜・東京に宿泊 4. その他に宿泊

鎌倉市内に宿泊の場合、宿泊数、宿泊費はどの位ですか？

宿泊数	1. 1泊 2. 2泊 3. その他 _____
宿泊料金	一人あたり 約 _____ 円

Q5. 今回は、どのような観光施設をまわりましたか(まわる予定ですか)？

合計 ()ヶ所 (下記の施設に○をつけてください)
1. 鶴岡八幡宮 2. 鎌倉宮(大塔宮) 3. 高德院(大仏) 4. 建長寺 5. 円覚寺 6. 長谷寺(長谷観音) 7. 瑞泉寺 8. 明月院 9. 東慶寺 10. 浄智寺 11. 報国寺 12. 大船観音寺 13. 銭洗弁財天 14. 県立フラワーセンター 15. 県立近代美術館 16. 鎌倉国宝館 17. 鎌倉文学館 18. 鎌倉海岸 19. ハイキングコース 20. その他 ()

《裏面の記入もお願いいたします》

資料2 アンケート調査データ

交通手段割合データ

【JR鎌倉駅乗車数に対するその他交通手段の比率】

交通手段	回答者数	比率
路線バス	1	0.5%
自家用車	17	8.3%
レンタカー	0	0.0%
タクシー	0	0.0%
自転車	4	2.0%
オートバイ	1	0.5%
観光バス	9	4.4%
徒歩	2	1.0%
JR鎌倉駅乗車	204	

【交通手段別同行人数】

交通手段	同行人数 平均	1人	2人	3～6人 (代表値3人)	7人以上 (代表値7人)	合計
JR	2.12	16	159	73	13	261
江ノ電	1.98	6	25	11	3	45
モノレール	—	0	0	0	0	0
路線バス	3.00	0	0	1	0	1
自家用車	2.18	0	5	9	3	17
レンタカー	—	0	0	0	0	0
タクシー	—	0	0	0	0	0
自転車	2.00	2	0	2	0	4
オートバイ	2.00	0	1	0	0	1
観光バス	1.25	1	0	3	4	8
徒歩	1.50	1	1	0	0	2

交通手段(来訪)	回答数	比率
JR	268	70.7%
江ノ電	46	12.1%
モノレール	0	0.0%
路線バス	1	0.3%
自家用車	17	4.5%
レンタカー	0	0.0%
タクシー	0	0.0%
自転車	4	1.1%
オートバイ	1	0.3%
観光(団体)バス	9	2.4%
徒歩	2	0.5%
無回答・無効	31	8.2%
合計	379	100.0%

交通手段(帰宅)	回答数	比率
JR	244	64.4%
江ノ電	49	12.9%
モノレール	0	0.0%
路線バス	0	0.0%
自家用車	17	4.5%
レンタカー	0	0.0%
タクシー	0	0.0%
自転車	4	1.1%
オートバイ	1	0.3%
観光(団体)バス	9	2.4%
徒歩	1	0.3%
無回答・無効	54	14.2%
合計	379	100.0%

その他アンケート結果データ

性別	回答数	比率
男性	149	39.3%
女性	209	55.1%
無回答・無効	21	5.5%
合計	379	100.0%

同行人数	回答数	比率
ひとり	30	7.9%
2人	201	53.0%
3～6人	112	29.6%
7人以上	25	6.6%
無回答・無効	11	2.9%
合計	379	100.0%

年齢	回答数	比率
10代	14	3.7%
20代	99	26.1%
30代	76	20.1%
40代	69	18.2%
50代	45	11.9%
60代以上	55	14.5%
無回答・無効	21	5.5%
合計	379	100.0%

同行者種別	回答数	比率
家族・親類	169	45.1%
友人・知人	146	38.9%
同僚など	9	2.4%
団体ツアー	10	2.7%
学校行事	1	0.3%
無回答・無効	40	10.7%
合計	375	100.0%

到着時間	回答数	比率
10時前	46	12.1%
10時～	102	26.9%
11時～	101	26.6%
12時～	56	14.8%
13時～	29	7.7%
14時～	16	4.2%
15時～	9	2.4%
前日	9	2.4%
無回答・無効	11	2.9%
合計	379	100.0%

出発時間	回答数	比率
13時前	7	1.8%
～14時	22	5.8%
～15時	45	11.9%
～16時	94	24.8%
～17時	96	25.3%
～18時	33	8.7%
18時～	49	12.9%
無回答・無効	33	8.7%
合計	379	100.0%

宿泊料金	15,438円	* 回答者平均
------	---------	---------

形態	回答数	比率
素泊まり	11	84.6%
1泊1食	1	7.7%
1泊2食	0	0.0%
無回答・無効	1	7.7%
合計	13	100.0%

費用	全体	日帰り	宿泊
飲食費合計	3,138円	3,030円	6,258円
お土産代合計	1,582円	1,447円	5,500円
市内交通費	396円	382円	783円
レジャー費合計	383円	375円	625円
費用合計	5,500円	5,234円	13,167円

観光・経済研究プロジェクト

「観光客がもたらす経済効果調査」施策事例（素案）発表・意見交換会

主催：鎌倉市政策創造プロジェクトチーム「鎌倉観光未来Study's」

日時：平成26年2月19日(水) 9時～12時

場所：鎌倉市役所201会議室

参加者：公益社団法人鎌倉市観光協会 高橋課長

鎌倉市まちづくり景観部都市景観課 美田職員

都市整備部道路課 加藤副主査

拠点整備部再開発課 猪俣職員

拠点整備部深沢地域整備課 西村職員

「鎌倉観光未来Study's」

まちづくり景観部みどり課 岩原副主査（リーダー）

経営企画部市民相談課 細田副主査（サブリーダー）

総務部市民税課 岡山主事

市民活動部腰越支所 山戸副主査

健康福祉部市民健康課 押山副主査

健康福祉部保険年金課 芹澤副主査

拠点整備部再開発課 三浦副主査

市民活動部観光商工課観光担当

政策創造担当 大隅次長、林課長

アドバイザー：株式会社オイコノミクス計量計画事務所 横山真吾

1 開会

2 事例発表

- (1) 「観光客とともにつくる鎌倉観光」への提案 発表者：押山いつみ
～メモリアルタイルオーナー制度～

【意見交換】

道路 発想はとても素晴らしいと思う。しかし、タイルは歩道だと大変痛みやすく、すぐに壊れてしまい、整備が追い付かなくなると考えられる。また、名前を入れ

たものという観点からも、歩道ではなく、壁面などを利用するのが良いと思う。

タイルの価格設定については検討が必要。

景観 発想はおもしろいと感じた。今年度、観光担当で観光案内板にシリアルナンバー、ネーム入れをする取組みにおいて、1件1万円の出資を募ったが、その際の市民とそれ以外との割合のデータはあるのか。

来訪者向けではなくて、市民向けの企画として良いのではないかと感じた。

景観的には特別に派手なものでなければ可能と思う。

観光協会 観光協会としても、財源確保に努めており、大変参考となる提案である。ターゲットとなる関心をもってくれる方々はあると思うが、企画としての魅力というか、企画全体としてのストーリー、話題性を高めるためには、特定の場所、単発のみで実施するのではなく、市内全体でストーリーを描けるような取組の検討が必要だと思う。

再開発 実現可能性がある事業だと思う。再開発事業への応用ができるのではないかと
思う。

深沢整備 メインストリートだけに限らず、1本裏の通りへの歩行者の分散・誘導という
面での利用も可能と思う。

タイルの価格設定については検討が必要。

他自治体での取組みの成功事例はあるか。

押山 横須賀市ではドブ板通りで地元著名人の手形をタイルとした。逗子市でも取組
み事例がある。

深沢整備 歩道だと下を向くことになるが、顔を上げて見る壁面での実施が良いと思う。

押山 この提案では例として歩道タイルとしているが、歩道にこだわっているもの
ではなく、壁面でもよいと思っている。

(2)「鎌倉ライフスタイル」の提案

発表者：山戸麻子

～地元を観光しよう！～

道路 市民を観光客にという発想はおもしろいが、手を広げすぎていて、的が絞れて
いない雑多な印象がある。

パンフレットを置くことよりも、魅力的な徒歩ルートを設定できるかが重要か
と思う。

景観 地元に住んでもらうことや、既婚女性にターゲットを絞った提案である点がよ
いと思う。ドラマ撮影で利用されたスポットの紹介などもあればよいのではない
か。

30代女性がターゲットならば、可能であれば幼稚園や保育園に置くのも良い。

観光協会 地元の人をターゲットにする店と、いわゆる観光客をターゲットにする店とは
両極端である。フリーペーパーを作成するときは、誰を対象にするのかを含め、

取材がとても大事になる。

観光やイベントの担い手としても市民は重要なので、市民への働きかけというコンセプトは良い。協会でもこれから行う鎌倉まつりの流鏝馬行事に市内の中学生を100名招待する。流鏝馬の射手で鎌倉出身者が1人しかいない現状なので、地元から将来の射手になってもらいたいという思いがある。

市民のクチコミは効果的と考える。

フィルムコミッションについては、どのような対象を受けるかのセレクトが重要（鎌倉のイメージに合ったものを選択する必要がある）。

再開発 鎌倉に居住するメリットをもっと紹介できればよいと思う。

深沢整備 地元の話掘り起こせば、歴史上の話など、いろいろ出てくると思う。

モノレールを活用すれば、市外からの来訪者も増えるのではないかな。

横山アドバイザー 「中心は生活者」という視点から、提案内容を整理していけばよい。

(3) 広域分散型観光を目的とした情報投稿スペースの構築 発表者：岩原 徹

道路 「鎌倉が混雑しているから市外へ」という発想は、損をしているという結果にならないか。待っている間の楽しみを提案するという方法もあるのではないかな。

前のグループの発表も含め、「宿泊者を増やす」という発想があるようだが、旅館業等の一部の事業者に宿泊費が落ちるだけで、市全体の経済活性化には繋がらないのではないかな。

横山アドバイザー 宿泊することにより、夕食や朝食を鎌倉でとる可能性が高まるため、経済活性化の効果はあると考える。

景観 情報発信のタイムラグが気になった。投稿の頻度を上げないと、「家を出たときは空いていたのに、着いたときには混んでいる」という状況になりかねない。混雑予想があっても良いのではないかな。

観光協会 広域連携の取組みは行っている。鎌倉としては、観光客の混雑を平準化していきたいという考えはもっているが、観光客が他市町に行ってしまうのはデメリットであって、考え方として違うのではないかなと思う。

再開発 広域連携というテーマにおける提案が、「ユーザーの書き込み」というのは少し寂しい。たとえば、藤沢市と連携し、藤沢に宿泊して、鎌倉を観光するようなプランを作るのもおもしろいのではないかな。

深沢整備 この提案は、情報を自分から取りに行くものであるが、受動的に混雑状況が揭示されたりして得られる情報があれば効果的ではないかな。

横山アドバイザー 情報共有という観点でいうと、Facebookのように何でもできるSNSは下火傾向にある。Twitter、Instagram、LINEのように、特定の機能であったり、特定のユーザー同士でのやり取りの方が注目されている。今後は、情報を絞ったうえで提供すべき時代になっていると考える。

3 意見交換

「まちづくりにおける観光の視点」

- ・再開発、深沢の新しいまちづくりにも、観光という視点があってもよいのではないか。
- ・これまでの再開発事業においては、観光という視点が置かれることがなかったと思う。
- ・大船の宿泊施設は、当初、東京や横浜に来訪するビジネス客を想定して建てられたが、調査したところ、鎌倉観光の利用客も多く、平日でも90%程度の稼働率がある。
- ・そのような下地があるのなら、大船を観光地としてアピールするチャンスも考えられるのではないか。
- ・まちづくりは、住んでいる人が中心なので、税金を投下する再開発事業で、観光を打ち出すのは難しいのではないか。
- ・観光をまちづくり事業の中に掲げるのではなく、鎌倉という立地を考慮した時には、観光との関連性というものの視野に含めても良いのではないかということである。

「景観形成基準について」

- ・たとえば、コインパーキングやコンビニエンスストアの色彩が規制されているのが目に付くが、「鎌倉は規制が厳しい」という声はないか。たとえば、一般的に女性が好みそうな、POP、カラフルなものにしたいという要望はないのか。
- ・実務の中では、そもそも「鎌倉は規制が厳しいのは仕方がない」と思ってもらえる人が多いという印象である。

【鎌倉市観光協会・高橋課長のお話】

「外国人観光客について」

- ・来訪する外国人は、欧米人が多い。フランス人は親日家が多く、来訪者も多い。京都までは遠いので鎌倉に来るというパターンが多い。
- ・最近伸びているのは、タイやシンガポールからの来訪者。特にタイは仏教国で、大仏を参拝する人が多い。

「宿泊施設について」

- ・新たな宿泊施設開設の相談は観光協会には来ていない。
- ・鎌倉に宿泊施設が少ないから宿泊客が少ないのか、宿泊客が少ないから宿泊施設が少ないのかは、卵とニワトリの理論で昔からよくわかっていない。
- ・観光案内所では、当日の宿泊施設の空き状況については、観光客から問い合わせがあったときに適宜対応している。
- ・大船の宿泊施設も案内しており、鎌倉地域に比べて価格が安く便利がられている。

「配布するパンフレットに『協力』とあるが」

- ・観光協会が行っているのはパンフレットに掲載する情報の提供と、パンフレットの配布及び配布施設の紹介である。
- ・従前は観光協会で作成し、有料（1部200円）で販売していたが、販売の手間（例：1部単位での発送依頼への対応や、切手による集金及び換金）や、他でフリーペーパーが発行されている現状を考慮し、作成を中止した経緯がある。
- ・観光協会でも、インターネットや携帯などITを活用する方向に進んでいるが、鎌倉の来訪者は紙媒体を利用する層が多く、紙による情報提供は依然重要と考える。

横山アドバイザー 鎌倉は徒歩で観光する機会が多いことから、紙の地図を広げる場面も多いと思う。場所やルートは紙地図で確認し、情報はITで入手するという人が多い、という可能性が高いのかもしれない。